産業

市内産の米を使った地酒づくり

観光協会補助金

ふじみ野市誕生20周年を機に、市内で作られたお米で地酒を造り、幅広くPRする事業に対し補助が行われます。

問 今回の事業の目的は。

答 市内産の米、彩のきずなを使用し、地産地消の推進、地域の活性化を図る目的である。

問 名称や製造本数は。

答 名称は「河岸の蔵」に決定した。製造本数は720ml、1500本を予定しており、このうち約半分を静岡の海に沈めて海中熟成にして飲み比べできるよう2種類を予定している。

問 スケジュールは。

答 ふじみ野市誕生20周年記念式典の10月5日にお披露目し、周知を行うことを考えている。来年度以降の販売も継続して実施していく。

問 販売方法は。

答 観光協会は酒販の免許がないため、現在調整中である。

ふじみ野市の米でうまい酒を

福祉

アウトリーチで貧困の連鎖を防ぐ

子どもの進路選択支援事業

生活保護世帯の子ども及び保護者に家庭訪問し、専門家が情報提供や助言を行い、進路選択の環境を改善する支援が始まります。

問 事業導入の背景は。

答 生活保護世帯の子どもは進学率が低く、情報や支援が届きにくい。

貧困の連鎖を防ぐためには、進路選択の環境改善が重要である。

問 具体的な支援の内容は。

答 対象者は中高生約60人とその保護者で、こちらからアプローチを行う。全員をスクリーニングし、進路相談や情報提供を通じて多様な進路選択を支援する。

個々に応じた学習・生活環境の改善や奨学金等の情報の提供を行い、学習支援教室と連携して子どもの居場所へつなげていく。

将来を共に考える

子育て

療育支援アドバイス小学校まで拡充

児童発育・発達支援センター管理運営事業

幼稚園や保育所等に臨床心理士等が巡回し、発育や発達に不安がある子に関わる職員の支援が行われています。今年度から全小学校にも巡回相談が拡充されます。

問 拡充理由は。

答 近年小学校の現場や保護者等からの相談件数が増加傾向にある。

学校現場における発育・発達に不安のある児童へ対応するため、学校の先生を支援する事業を拡充する。

問 今後の具体的な取り組みは。

答 5月と6月に1回、9月と11月に1回、合計2回の巡回支援を予定している。

学校からの相談で気になる児童の観察を行い、不安がある場合は保護者と面談し児童の成長に合った支援を行っていく。

切れ目のない相談支援を

まちづくり

老朽化した公園等の再整備

公園緑地管理事業

公園等の維持管理と合わせ老朽化した設備の再整備が行われます。また、運動公園野球場の改修工事も行われます。

問 南台あすなろ公園の園地改修工事内容は。

答 広場の表層が飛散等により薄くなり小石等が出てきているため、真砂土舗装の工事をする。

問 運動公園野球場の改修工事内容は。

答 グラウンド整備として内野の黒土入れ替え、外野の人工芝張り替えを行う。

また、内外野のフェンス等を交換する。

ダグアウトは塗り替えを行い、内部のベンチは改修を行う。

内野の防球ネット全面張り替えを実施し、本部席・トイレ等の改修を行う。

新たなスコアボードも設置する予定である。

問 スケジュールは。

答 本年12月より野球場を閉鎖し、令和8年10月までの工事を予定している。

転んでも大丈夫に

生活

年金や雇用問題を気軽に相談

市民相談事業

市民相談事業の拡充で、今年度から社会保険労務士による相談として年金相談・労働相談が実施されます。

問 社会保険労務士による相談の内容は。

答 労災や不当解雇など、会社とのトラブルを相談できることは、安心して働ける環境をつくる助けとなり大切なことと考えている。

障害年金や遺族年金、雇用保険等について分かりやすく説明してもらうこともできる。

問 これまでも労働に関する相談は多かったのか。

答 令和5年度は労働問題が35件であったが、弁護士相談や行政書士による生活総合相談で対応していた。

安心して専門相談ができます

健康

がん患者の経済的負担軽減へ

がん対策事業

外見の変化を補うアピアランスケアとして医療用ウイッグや補整下着の購入の助成が始まります。また、AYA世代がん患者の在宅療養の訪問介護や福祉用具購入の費用へ助成が行われます。

問 アピアランスケアの対象と金額は。

答 本人用にオーダーされたウイッグ及び胸部補整具が対象となり、ウイッグと下着それぞれ一人1回、上限1万円ずつの助成を行う。

問 AYA世代のがん患者の在宅療養支援事業の支援内容は。

答 15歳から39歳までの終末期のがん患者が在宅医療を行う場合は、介護保険制度や小児慢性特定疾病の医療費助成制度の対象とならないため経済的負担が大きい。在宅療養の訪問介護費用や福祉用具購入に対して、月額7万2000円を上限に助成を行う。